

# 平成16年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	90	学校名	県立下妻第二高等学校				課程	全日制		学校長名	染谷 心					
教頭名	中山 修								事務(室)長名	染谷 信子						
教職員数	教諭	45	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	2	実習教諭、実習講師、実習助手	2	事務職員	3	技術職員等	2	計	56
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	131	149	121	155	99	178			351	482	21				
	科															

## 2 目指す学校像

甲子園出場を目標に励んでいる野球部を中心に、部活の活性化を強力に推進すると共に、将来、国内だけでなく広く海外でも活躍できる人材を育成する国際教育を特色とした進学校をめざす。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
教科指導及び進路指導	生徒の潜在能力と学習意欲を十分引き出し、希望進路に結びつけるために、教員の教科指導法の工夫と研究をさらにすすめていく。	十分な教材研究、指導法の工夫、緊張感をもった授業、50分を大切に作る姿勢、進路への早い意識づけが課題。
生徒指導	遅刻者、早退者が多く、服装、頭髪に乱れが見られるので指導を徹底していく。	規律ある生活と規範意識の高揚を推進するには、生徒指導部を中心とした各学年の取組みが課題。
特別活動	ホームルーム活動の年間計画をきちんと立て、特に心の教育を計画的に指導していく。	週1回のLHRだけでなく朝夕のSHRの有効活用が課題。
国際理解活動	海外語学研修（オーストラリア・ホームステイ）への参加生徒数の増加を進めると共に、帰国後、体験発表の機会を計画的に設けていく。	ALTの活用、海外体験者の活用、日本にいる留学生の活用を工夫する。
家庭・地域との連携	保護者や地域社会との連携を図りながら、公開授業やPR紙の発行を積極的にすすめ、開かれた学校にしていく。	公開授業への招待、PR紙の有効活用の工夫などが課題。

## 4 中期的目標

国立大学2桁合格をめざす。  
 個別指導の徹底と、偏差値5ポ  
 外部模試の分析と、偏差値5ポ  
 結果の出し分けと、偏差値5ポ  
 野球部の甲子園出場をめざす。

## 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次 (平成16年度)	学力の向上と進路指導の充実	英語、数学の習熟度別学習の実施。授業時数の確保。教科指導法の改善・充実。3年生では特編授業を実施。国公立大学合格者を出す。	
	生徒指導の徹底	制服をきちんと着る、遅刻生徒を減らすの2点を徹底する。	
	特別活動の推進	部加入者の増加と野球部の甲子園出場をめざす。	
	国際交流の推進	海外語学研修への参加者を増加させ、受け入れについても実施できるよう推進する。	
2年次 (平成17年度)	学力向上と進路指導の充実	国立大学合格者の2桁合格をめざす。	
	生徒指導の徹底	特別指導対象者を出さない指導をする。	
	特別活動の推進	特別指導件数を年間10件以内にする。学校行事の生徒による主体的運営をめざす。	
	国際交流の推進	海外語学研修を積極的に進めながら、ホームステイの受け入れも行う。	
3年次 (平成18年度)	学力向上と進路指導の充実	教科指導法の研修をさらに充実させる。	
	生徒指導の徹底	2年次の目標をさらに確実なものとする。	
	特別活動の推進	生徒理解を深め、さらに個別面談の内容を高め、心の教育をさらに浸透させる。	
	国際交流の推進	部活動推薦クラスを定着させ、個に応じた指導を徹底し、文武両道をめざす。	
		1年間の留学もできるようなにする。	